

アイヌ文化を間近に体感

AINU CULTURE FESTIVAL in SAPPORO

アイヌ文化 フェスティバル



宇井眞紀子



豊川容子



平村太幹



阿部弘美

2025年1月18日(土) 開場/12時00分
開演/13時00分
札幌市教育文化会館 大ホール

札幌市中央区北1条西13丁目 (札幌市営地下鉄東西線「西11丁目」駅、1番出口から徒歩5分)

入場無料 事前申し込みの必要はありません。

出演 **【基調講演】** 宇井眞紀子 (写真家) 「アイヌ、100人のいま」
【口承文芸】 豊川容子 **【古式舞踊公演】** 札幌ウポポ保存会
実演 **【木彫実演】** 平村太幹 **【刺繍実演】** 阿部弘美

《同時開催》**アイヌ文化賞・文化奨励賞贈呈式** ※イベント内容は予告なく変更となる場合がございます。予めご了承ください。
※混雑状況により、入場をお断りする場合がございます。

【主催】公益財団法人アイヌ民族文化財団
〒060-0001 札幌市中央区北1条西7丁目プレスト1・7
TEL 011-271-4171 FAX 011-271-4181



【後援】国土交通省・北海道教育委員会・札幌市・札幌市教育委員会
公益社団法人北海道アイヌ協会
【文化庁・北海道補助事業】

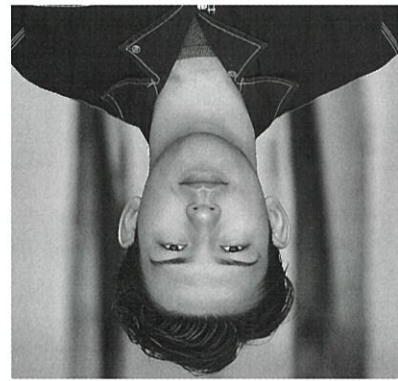


札幌ウポポ保存会



古式舞踊公演 札幌ウポホ保存会

1979年に結成され、国の重要無形民俗文化財の指定を受けた保存会の一つで、2009年にはアイヌ古式舞踊がユネスコ無形文化遺産に登録されている。また、2000年には当財団のアイヌ文化奨励賞（団体）を受賞している。他の地域と異なり、道内各地から札幌市に移住した多様なルーツを持つアイヌが多く、現在では、札幌で生まれ育った子孫も保存会活動に参加し多方面で活躍しており、活動の輪が広がっている。



木彫実演 平村太幹

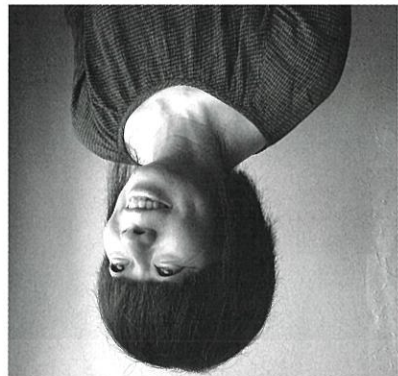
2021年より株式会社平取町アイヌ文化振興公社の平取地域オール再生事業職員としてアイヌ文化の伝承活動に従事している。また、2022年に二風谷民芸組合に加入し、若手作家としてアイヌ伝統工芸の作品作りに取り組む。2022年当財団アイヌ工芸作品コンテストで入選、2023年に優秀賞を受賞し、同年に（公社）北海道アイヌ協会主催北海道アイヌ伝統工芸展にて最優秀賞を受賞している。



刺繍実演 阿部弘美

1981年から故三上ワリ子氏の指導の下、アイヌ刺繍の技術を学び始め、2000年には職業訓練指導員免許を取得。また、1998年には当財団アイヌ工芸作品コンテストで入選、2001年、2002年、2004年、2009年に奨励賞を受賞。2001年以降、（公社）北海道アイヌ協会主催北海道アイヌ伝統工芸展で優秀賞、奨励賞を受賞し、（公社）北海道アイヌ協会優秀工芸師に認定される。そのほかにも、札幌市アイヌ文化体験講座、札幌市市民型アイヌアート・フェスティバル設置事業の講師を務め、2020年ウポホ展示作品を制作するなど多方面で活躍している。また、当財団のアイヌ文化活動「ウポホ」の一環として活動しながら、アイヌの伝統的な衣装や装飾品だけではなく、現代的な作品も制作している。

会場／札幌市教育文化会館 大ホール 札幌市中央区北1条西13丁目
開場／12時00分・開演／13時00分
【スノーシの部】アイヌ文化賞・文化奨励賞贈呈式／基調講演／口承文芸／古式舞踊公演
【ホワイエの部】木彫実演／刺繍実演／アイヌ工芸品展示



基調講演 宇井眞紀子（写真家）

「アイヌ、100人のいま」
1960年千葉県生まれ。1983年武蔵野美術大学卒業後に日本写真芸術専門学校に入学。学生時代より写真家樋口健二氏に師事。1985年卒業後にフリーランスとして雑誌を中心に活動を開始。1992年アイヌ民族の取材を始め、2009年より全国に暮らすアイヌ民族100組を撮影する写真集出版プロジェクトを開始。公益財団法人日本写真家協会会員、日本写真芸術専門学校講師、武蔵野美術大学非常勤講師を務める。

【受賞歴】

第4回さかみはら写真新人奨励賞（2004年）
第28回東川賞特別作家賞（2012年）
第1回笹本恒子写真賞（2017年）
平成29年度東村山市文化芸術表彰（2017年）

【主な写真集】

『アイヌとどきどき日本人』（社会評論社、2001年）
『眠る線路』（ワイルド出版、2003年）
『アイヌ、風の肖像』（新泉社、2011年）
『いのちの森に暮らす』（東村山市 多摩全生園入所者自治会、2015年）
『アイヌ、100人のいま』（冬青社、2017年）
『伝え守る アイヌ三代の物語』（少年写真新聞社、2021年）



口承文芸 豊川容子

北海道帯広市生まれ。アコースティックユニット“zizi”のボーカルとして関西圏を拠点に活動した後、北海道に戻り、“nincup/ニノチュ”のボーカルとして、アイヌのウポホ（歌）やユカラ（英雄叙事詩）の歌唱法を取り入れるなど、アイヌ文化伝承者として活動している。

《会場アクセス》
●札幌市営地下鉄東西線「西11丁目」駅、1番出口から徒歩5分
●市電「西15丁目」駅から徒歩10分
●シエ・アール北海道バス、北海道中央バス「北1条西12丁目」から徒歩1分
※駐車場はございません。お車で越しの際は、お近くの有料駐車場をご利用ください。